

平成27年第2回竜王町議会定例会（第4号）

平成27年6月22日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

日程第 1 議第53号 平成27年度竜王町一般会計補正予算（第2号）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

日程第 2 議会広報特別委員会委員長報告

日程第 3 地域活性化特別委員会委員長報告

日程第 4 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

日程第 5 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

日程第 6 議員派遣について

2 会議に出席した議員（10名）

1番	小森重剛	2番	竹山兵司
3番	(欠員)	4番	岡山富男
5番	山田義明	6番	内山英作
7番	貴多正幸	8番	古株克彦
9番	松浦博	10番	(欠員)
11番	菱田三男	12番	蔵口嘉寿男

3 会議に欠席した議員（なし）

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	竹山秀雄	副町長	川部治夫
教育長	岡谷ふさ子	総務主監	杼木栄司
会計管理者	犬井教子	政策推進課長	関司明德
総務課長	奥浩市	税務課長	田邊正俊
生活安全課長	井口清幸	住民課長	知禿雅仁
福祉課長	白川賢治	健康推進課長	嶋林さちこ
発達支援課長	木戸妙子	産業振興課長兼 農業委員会事務局長	竹内修
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	徳谷則一
工業団地推進課長	尾崎康人	教育次長	松瀬徳之助
学務課長	重森義一	生涯学習課長	西川良浩

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	若井政彦	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（蔵口嘉寿男） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、10人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成27年第2回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

皆さんのお手元に、株式会社みらいパーク竜王並びに公益財団法人竜王町地域振興事業団の事業報告、経営状況等を説明する書類を配付いたしましたので、よろしくお願いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより、議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第1 議第53号 平成27年度竜王町一般会計補正予算（第2号）**

**（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第1 議第53号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 議第53号、総務産業建設常任委員会報告。

平成27年6月22日

委員長 貴多 正幸

去る6月11日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第53号、平成27年度竜王町一般会計補正予算（第2号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、6月12日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、竹山町長、関係各主監及び課長等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成27年度竜王町一般会計補正予算（第2号）は、補正予算（第1号）までの歳入歳出予算の総額に2,592万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ62億1,462万2,000円に改めるものです。

主な質疑応答は、問）文化財保護費に印刷製本費が計上されているが、どのようなものを作成するのか。答）苗村神社三十三年式年大祭の詳細調査を実施され

た滋賀県立大学所有のデータを活用し、民俗文化財として地域住民の手で守り伝えられ、後世へ引き継ぎ、保存、伝承していくための報告書を300冊作成するものです。

問) シルバー人材センター補助金の増額については、国の補助単価が引き上げられたことによるものであるとのことだが、引き上げの要因は何か。答) 高齢者の雇用、就労拡大として主に人手不足分野等への就業機会の開拓を図ることを目的に実施する事業の、平成27年度単価の限度額が引き上げられたことによるものです。

主な意見として。

以前からも言えることだが、各担当課で所掌している部分については、委員会での質問に対し即答できるように準備をして臨みたい。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。日程第1 議第53号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 起立全員であります。よって、日程第1 議第53号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議会広報特別委員会委員長報告

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第2 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、松浦 博議員。

○議会広報特別委員会委員長（松浦 博） 議会広報特別委員会報告。

平成27年6月22日

委員長 松浦 博

本委員会は、平成27年第1回定例会閉会後の3月31日に午前9時より、4月9日及び17日午後1時より、21日午前9時より委員全員出席のもと開催し、議会だより171号の編集作業をし、5月1日に発行しました。

また、本委員会は、本定例会中の6月9日午前10時30分より、委員1名欠席のもと委員会を開催し、議会だより172号について、記事の概要検討と役割分担をしました。

主な記事の内容は、平成27年第1回臨時会及び第2回定例会における条例改正、補正予算、一般質問のほか、委員会活動、シリーズいきいき人生などで、12ページにまとめ、8月1日に発行することになりました。

また、今後の本委員会の日程につきましては、6月25日、7月6日、15日、21日と決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして許可くださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第3 地域活性化特別委員会委員長報告**

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第3 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、松浦 博議員。

**○地域活性化特別委員会委員長（松浦 博）** 地域活性化特別委員会報告。

平成27年6月22日

委員長 松浦 博

本委員会は、6月16日午後1時より、第1委員会室において委員全員出席のもと、町執行部より竹山町長、川部副町長、桴木総務主監、図司政策推進課長、村田工業団地推進担当理事員、尾崎工業団地推進課長、井口建設計画課長及び担当職員の出席を求め、竹山町長挨拶の後、所管事務調査を行いました。なお、滋賀竜王工業団地に関して、滋賀県土地開発公社より外村理事、東課長が出席され、説明を受けました。

1、(株)雪国まいたけについて。

報告を受けた内容は次のとおり。

(株)雪国まいたけの経営体制が(株)ベインキャピタルによる公開買い付けが行われ、その後、公開買い付けに係る臨時株主総会後に上場廃止となり、ベインキャピタルの完全子会社化となった。経営役員体制はベインキャピタルから3名の役員が加わったことで、資産の整理と財務状況の改善は進むものと思われる。

(株)雪国まいたけから山面の所有地について、カット野菜工場を存続させた上で、残地を分譲売却するとの説明が当町にあった。また、計画を具体的に進めるため地元説明会を実施することと、許認可関係をスムーズに進めるための協議を開始した。

主な質疑。

問) 農工法計画の変更が可能なのか。答) 町としては農工法の期限を認識した上で、まず地元の理解を図りながら、県の許認可が得られるよう会社と協議を詰めていきます。地元協議は、まず直接社長と行った上で進めていく。また議会への説明の機会も設けます。

問) 地域再生法に遊休工業用地の有効活用とあるが、同法に基づいた地域再生計画は進められないのか。また、地域再生計画については県の同意が必要となっているが協議は進めているのか。答) 県として遊休工業用地の放置はできないものと思います。町としては企業誘致の担当者を置き、県農政課及び国とのパイプを生かして協議を行っています。国会議員にも応援いただきたいと考えています。

問) 文化財調査は分譲コスト高につながることから、早期に対策を行うべきではないか。答) 開発企業等に周知し、準備を早期に行うよう促します。

問) 期限は来年3月だが、計画変更は間に合うのか。答) 対策ができない場合は、来年3月に農工法は期限切れとなります。ただし、参入企業との契約ができ、

計画変更がなされれば延長は可能です。答) (町長) 確実な動きが出てきています。議会に社長から報告の場を持ちます。この開発には責任を持って進めます。

2、滋賀竜王工業団地について。

報告を受けた内容は次のとおり。

祖父川左岸堤防損壊状況について。

5月16日の降雨(総雨量29mm)により5区画地の沈砂池の排水管で雨水が吐けきれず、小堤防より雨水が越流し、祖父川左岸堤防ののり面2カ所が損壊した。再発防止対策として小堤防を高くし沈砂池の容量を拡大し、降雨時の巡回を強化するとともに、現場事務所に公社職員を1名駐在し、大雨注意報以上が発表された時は2名を待機させる。

工事の進捗状況について。

計画どおり進捗している。今後、発生する県公社事業及び竜王町事業は夏ごろから冬にかけて順次発注する予定である。

企業誘致について。

企業誘致セミナーを東京、京都、東海中部圏で開催するほか、びわ湖環境ビジネスメッセにて出展を予定している。また、トップセールスなど県、公社、竜王町が一体となった誘致活動を継続する。

主な質疑。

問) 当初、公社より工事現場には2名の職員を駐在させると説明があったが、その体制が整っていないのはどうしてなのか。答) 当初の計画通りの体制となっておらず申しわけない。今後は2名の駐在員を置きます。

問) 土砂の搬入車両が交通渋滞に影響しないのか。答) 国道477号の道路拡幅工事と重なり片側通行となるため、交通量が増加することから、近隣企業などに迂回の要請を行い、少しでも緩和に努めます。

問) トップセールスはどのような企業に行うのか。答) 主に進出に興味を示した企業に対して行います。

3、住宅施策の状況について。

報告を受けた内容は次のとおり。

(1) 山之上地区。住宅事業者複数社による事業化に向け調整中である。また、山之上連合区長及び4区長に住宅構想の計画説明を行うとともに、道路拡幅に係る測量実施への協力依頼を行った。

(2) 松陽台地区。IBMより利活用についての調査結果が町に報告される予

定である。

(3) 総合庁舎周辺地区。知事より関係課へ、県としてできることがあれば動くよう直接指示された。

(4) 集落周辺地区。鶴川地区において住宅用地確保等の話し合いを開始。

(5) その他。滋賀竜王工業団地に進出予定の企業や町内企業に対して、従業員の住宅需要の聞き取りを始めた。

主な質疑。

問) 総合庁舎周辺の開発は見込めないのか。答) 住宅地には最適だが、農地法の規制は厳しい。地方創生という側面から国へ要請をしています。また、農水省から調査に来町した当該規制の担当官への継続した要請を行います。山之上と総合庁舎周辺の開発を優先する。地方創生として取り組みたい。

問) 山之上の農地の供給価格はどの程度なのか。生活インフラはどのようにするのか。答) 当町は町営住宅もなく、町の直接投資も行っていないことから、町がインフラ整備を行い、住宅地の販売価格を引き下げます。

問) 山之上は価格の問題、環境の問題、通学距離の問題など課題が多く、膠着状態となっているのではないか。町としての開発の可否を決断する必要があるのではないか。答) 妥当な住宅地の価格と地元の協力が得られるよう努め、町として開発できると判断しています。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

なお、本委員会は引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~


日程第4 議会基本条例推進特別委員会委員長報告

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第4 議会基本条例推進特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会基本条例推進特別委員会委員長、小森重剛議員。

○議会基本条例推進特別委員会委員長（小森重剛） 議会基本条例推進特別委員会報告。

平成27年6月22日

委員長 小森 重剛

本委員会は、4月9日、委員全員出席のもと議会報告会の開催について会議を開きました。今年度は、報告会ではなく議会との懇談会とすることに決め、懇談会開催の日時、場所、テーマ、対象者及び懇談会の取り組み方について協議をしました。

開催日を5月16日土曜日に町公民館ホールで開催し、テーマを「住みよいまちづくりに向けて」と題し、懇談会は分散会方式で行うことを決定。最初の導入部分に当たっては、全体会議において議会から人口問題、住宅事情問題などの本町の現状を説明し、分散会での懇談への話題提供にする。本町の住みやすさ、住みにくさなど、住みやすいまちづくりについての意見を出し合い、考えてもらうこととしました。

また、対象を若者・子育て世代とし、青年団、町内企業、独身寮を所有されている企業に協力を依頼し、若い世代の従業員さんに参加、協力を呼びかけることとしました。

次に、4月17日、委員会は委員全員出席のもと今回開催する議会懇談会について会議を開き、各自治会を初め、参加協力を依頼する各種団体及び依頼方法について協議決定しました。

また、開催当日のスケジュールを19時30分に開会し、全体会議導入の部分ですが、分散懇談会は出席者の二分散会とし、20時ごろより約1時間の懇談会、21時ごろより全体会でまとめを行い、各分散会の担当議員が懇談内容の報告をもって懇談会のまとめとし、21時30分に閉会することを決定しました。

次に、4月23日、本委員会は委員3名欠席のもと会議を開き、町民懇談会の開催案内チラシの印刷を行い、議員各自が手分けして各自治会長、各種団体、各企業に参加依頼、協力をお願いに回りました。

次に、5月16日19時30分より、町公民館ホールにおいて、委員会として

町民懇談会を開催しました。49名、女性10名、男性39名の参加をいただき、住みよいまちづくりに向けてたくさんの御意見をいただきました。また、アンケートによる御意見もいただきました。意見集約を行い、総括としてまとめを行うことを議員間で確認しました。

次に、6月16日、本委員会は委員全員出席のもと委員会を開き、子ども議会（たつの子議会）及び議会報告会（町民懇談会）の集約、総括を行いました。集約総括としての資料を提案し、議論・検討をいたしましたが、内容にボリュームがあり、今回のみで集約するのは無理であるとの結論に達し、次回の委員会で最終集約をすることを確認しました。

以上、議会基本条例推進特別委員会とします。

なお、本委員会は、引き続き閉会中も調査活動を続けていくことを委員会として決めておりますので、議長お取り計らいのほどをよろしく願いいたします。

以上です。

○議長（蔵口嘉寿男） ただいまの議会基本条例推進特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## **日程第5 所管事務調査報告**

**（議会運営委員会委員長報告）**

**（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

**（教育民生常任委員会委員長報告）**

**○議長（蔵口嘉寿男）** 日程第5 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、山田義明議員。

**○議会運営委員会委員長（山田義明）** 議会運営委員会報告。

平成27年6月22日

委員長 山田 義明

本委員会は、5月8日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、平成27年第2回定例会の日程について協議し、会期を6月5日から6月22日までの18日間とすること、また今年度は9月に町議会議員選挙が挙行されますことから、平成27年度第3回定例会の日程についても協議し、開催日を8月17日より8月28日の12日間とする案を作成しました。

本委員会は、5月29日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、岡谷教育長、桴木総務主監、松瀬教育次長、奥総務課長、重森学務課長ほか、担当職員の出席により、平成27年第1回臨時会の提案事件について説明を受けました。今回提案される案件は、専決処分2件と平成27年度竜王町一般会計補正予算（第1号）で、会議録署名議員の指名、会期を本日限りとすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、5月29日午後2時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より竹山町長、桴木総務主監、奥総務課長ほか担当職員の出席により、平成27年第2回定例会の提案事件について説明を受けました。今回提案される案件は、条例改正2件、補正予算3件、竜王町職員懲戒審査委員会委員の任命について1件、竜王町固定資産評価員の選任について1件、平成26年度竜王町一般会計繰越明許費繰越計算書についての報告1件の計8件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を6月5日から22日の18日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、6月9日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、定例会第3日の会議の再開時間、一般質問については8議員による13問がありましたが、類似質問等の扱いについて調整し10質問に集約すること及び質問の順序等について審査決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

以上でございます。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、貴多正幸議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（貴多正幸） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成27年6月22日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、去る6月12日午前9時より、委員全員出席のもと第1委員会室において、町執行部より竹山町長、桴木総務主監、関司政策推進課長及び担当職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

小口地先町有地の件について。

桴木総務主監より、小口地先町有地における企業立地について、相手企業と土地の価格に大きな乖離があったこと、当企業の現在稼働中の物流センター用地の契約更新が可能になったことなどにより、成立しなかったことの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 経過の中で正式依頼を受けたとあるが、何をもって正式と捉えているのか。

答) 理事長が来られたことで正式と捉えています。

問) 当該町有地は宅地としても利用できるのか。答) 用途区分からすると工業地域となりますので可能です。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

○議長（蔵口嘉寿男） 次に、教育民生常任委員会委員長、古株克彦議員。

○教育民生常任委員会委員長（古株克彦） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成27年6月22日

委員長 古株 克彦

本委員会は、6月15日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと、町執行部より竹山町長、岡谷教育長、松瀬教育次長、桴木総務主監、知禿住民課長、嶋林健康推進課長、重森学務課長及び各関係職員の出席を求め、所管事務調査及び報告を受けました。

1. 所管事務調査。

①竜王中学校におけるICT機器の活用状況について。

1つ目に、第2期教育振興基本計画、平成25年から平成29年。この中に、教師が前に立ち、子供たちが同じことする一斉授業から、子供たち一人一人に、より効果的な学習を進めるためにICT機器の導入、活用が急務になっています。

2つ目に、タブレット端末の導入による効果として、従来のパソコン等のICT機器の課題をクリアし、持ち運びの便利さ、操作の容易さ、起動が速くカメラ機能のついたタブレット端末の導入が全国的に検討されています。

3つ目、竜王町の整備計画として、竜王中学校は平成26年度に導入され、竜王小学校、竜王西小学校には27年度に整備予定です。

②、竜王中学校のICT機器活用の授業の見学をいたしました。

3校時、4校時の6教室の授業を見学、説明を受けました。生徒のコミュニケーション能力、創造力、個性を伸ばすことが期待できるように感じました。ICT機器の導入に当たって、授業に至るまでの活用の研究、現場での試行錯誤などの先生方の御努力があることを聞きました。

主な質疑応答。

問) タブレット端末による情報を生徒が復習するために、USB等に記録させて持ち帰ることは可能か。答) 著作権等の問題があるため、現段階では難しいです。

問) タブレット端末を使いこなせない生徒への配慮はどのようにするのか。答) 全ての授業がICT機器を用いた授業ではありません。ICT機器による授業では、必要に応じ、補助する教師をつけることなどを検討したいと思います。

2. 報告事項。

竜王町国民健康保険、保健事業実施計画（データヘルス計画）について、次のとおり報告を受けました。

(1)、①データヘルス計画は健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿った効果的、かつ効率的な保健事業の実施及び評価を行うための計画であると。

②つ目には、近年、生活環境の変化や高齢化の進展に伴い、疾病に占める生活習慣病の割合がふえてきており、生涯にわたり生活の質を維持するためには、被保険者が自主的に生活習慣の改善及び疾病予防に取り組む必要がある。そして保険者がその取り組みを支援することは、医療費全体の適正化にも資する背景がある。

③つ目には、平成25年3月策定の第2次健康いきいき竜王21プランと、竜王町特定健康診査等実施計画との整合性を図る。

④つ目に、第1期の計画期間は平成27年度から29年度までとする。

(2)、竜王町の特定健診のデータ分析結果や、予防対策とリスク者との特定

が可能な糖尿病を重点課題と位置づけ、対策を講じることとする。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は引き続き、閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

**○議長（蔵口嘉寿男）** ただいま各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** ないようでありますので、お諮りいたします。

各委員長より申し出のとおり、所管事務調査等を閉会中も継続して行うことにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（蔵口嘉寿男）** 御異議なしと認めます。よって、各委員会とも閉会中も所管事務調査等の活動を行うことに決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議員派遣について

○議長（蔵口嘉寿男） 日程第6 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思いますが、なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（蔵口嘉寿男） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。竹山町長。

○町長（竹山秀雄） 平成27年第2回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本定例会は、去る6月5日から22日までの18日間にわたって会期を持たせていただきました。議員各位には、提案させていただきましたそれぞれの案件につきまして、各委員会、また本会議にて終始熱心に、かつ慎重に御審議を賜り、

本日全ての議案につき適切なる御判断をいただき、お認めを頂戴いたしましたことに、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございますとともに、各委員会の場において、また一般質問におきましては、まちづくりに関しまして不可欠な御意見、また建設的な御高見を数多く頂戴いたし、行政経営に生かしてまいらねばならないと肝に銘じたところであります。今後とも格段の御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、開会の御挨拶でも触れさせていただきましたが、5月31日には竜王町制施行60周年記念式典を挙行いたしました。今日に至るまで、直接、また間接に式典に出席して下さった方より、おおむね印象に残る式典でした、竜王町の御発展を祈っていますというお言葉を頂戴いたしております。改めまして、町が還暦を迎えたこのときに就任させていただいてることに感謝の念を抱きながら、まず、自分自身から町の将来に向かって力強く一步を踏み出さねばならないと誓っているところでもあります。交流を続けてきた市町の首長様が、よき式でしたし、会場の中で竜王町の皆さんの優しいお心に接することができ、この先もずっとずっとおつき合いを続けたいという気持ちが強くなりましたとおっしゃって下さいましたが、町の皆さんお一人お一人のハートが一つに集まった結果ではないかと思えますし、改めまして感謝を申し上げる次第であります。

また、第2部の祝賀の催しでは、中学校吹奏楽部の演奏、RYUOのコーラス等、町の皆さんによる演出であり、心のこもった演奏は会場の皆さんを魅了したものであると思います。代表の生徒の、町の60周年を祝って精いっぱい演奏したいと思えますの言葉に、私は町の将来を見た感がいたした次第であります。

話を転じさせていただきますが、ホットなニュースが続く本町であります。6月6日にはアグリパーク竜王が道の駅に登録となり、新しく出発するに際しての開駅式を執り行いました。道の駅かがみの里と異なり、道の駅アグリパークは地域密着の体験型、交流型であり、地場産のものを使っての新商品開発拠点、また農業研修の拠点とすることで将来の農業の担い手、後継者育成を目指したいと考えています。

地方創生は地方の積極性が求められているところであり、農業活性化や、農と観光、農と都会を結ぶような道の駅になることを願っています。いわば、道の駅第2ステージとあわせモデル的な存在になることが、結果的には地域の皆様に親んでもらえる、また、なくてはならない町の施設に位置づけられるものと考えております。長年、町の皆様が待ち望んでおられた常設消防、(仮称)南消防出

張所の起工式が山之上地先にて7月10日に予定されています。安心安全は誰もが等しく願うものであり、27年度中には完成見込みでありまして、町内に救急車、消防車が常に待機している体制は安堵感を持てますし、本町の消防団との連携が、滋賀県消防協会八幡支部と本施設は近江八幡消防署の出張所になりますことから、同じ管区にての諸活動になりますので一層強くなるものとも思っています。改めまして御協力賜りました地元の地権者の皆様方、また地元自治会の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

いま一件、話をさせていただきます。4月から地域おこし協力隊として男性1名に委嘱状を交付しました。引き続いての募集に応募があり、6月1日に女性1名に同委嘱状を交付したところであります。2名とも英語が堪能であり、同時通訳が可能なぐらいのレベルでありまして、60周年記念式典に合わせて来駕いただいたスーセイ・マリー市の皆さんの通訳として、いかに持ち前の語力で応じてもらったものであります。私は、大津にあります国道事務所の所長、また国交省の道の駅担当者からも、これからは地方にあっても外国人対応がしっかりとできるレベルになっていかないといけない。道の駅に外国人案内機能を備えることも第2ステージの一つですと聞いていますので、まさに2人の英語力が生かせるものと意を強くした次第であります。

以上ホットなニュースを述べさせていただきましたが、要するに何事にも前向きにチャレンジ精神をもって行動を起こしていくこと、このことが地方創生であり、行動こそが結果を生み出し、次なる新しい課題に向かえる活力になっていくものといえますので、第五次竜王町総合計画の実現へ、そして具体的数値目標を示す地方創生総合戦略の策定を極力早く完成させて、町の皆さんと力を合わせて、人口問題を初めとする町の各課題に果敢に進んでまいりたいと考えております。議員の皆様方におかれましては、特段のお力添えをお願い申し上げます。

暑さに向かいます折、くれぐれもお体を御自愛賜りまして毎日をお過ごしいただきますよう念じ上げ、言葉足りませんが閉会の御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

○議長（蔵口嘉寿男） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る6月5日に招集され、本日までの18日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては御多用の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な案件について慎重なる御審議をいただき大変御苦労

さまでございました。

また、執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただきありがとうございました。議員各位、並びに執行部の各位の御協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

毎回、申し上げておりますが、本会議並びに委員会において、各議員から述べられました意見や要望につきましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第でございます。

さて、第五次竜王町総合計画は5年目を迎え、10年計画の折り返し点となります。今、本町が抱える最も大きな人口減少問題は、人口1万4,000人を目標とした第五次総合計画のこれまでの進捗度や成果、課題を検証する中から、課題を克服、改善、実現する後半5年間の計画見直しという重大な局面を迎えています。竜王町議会では、人口問題、若者定住や子育てについて町民懇談会においても取り組みましたが、参加者からは竜王町は自然があり、環境もよくいいところ、住みやすいといった声がある一方で、働く場所の充実、公共交通の整備、空き家対策などの充実が求められていました。

人口減少がもたらす影響は広範にわたり、結果として町の存続を危うくすることにつながります。ことし町制60周年を迎え、住みたくなるまち、住んでよかったまち竜王町として、いつまでも存立するため、真剣に人口問題について対策を講じていかななくてはなりません。今、全国各自治体は、地方創生を旗頭に英知を結集し、地方再生を期すため、捲土重来のごとく、果敢に新たなまちづくりを構築しようと必死です。本町にあっても、町民の暮らしや生活を支えるまちづくりが持続して続けられるよう、取り組んでいただくことをお願い申し上げます。

梅雨本番から、いよいよ本格的な夏を迎えることとなります。各議員並びに執行部におかれましては、くれぐれもお体に御自愛いただき、町政の振興発展のために一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げ、閉会に当たっての御挨拶いたします。

以上をもちまして、平成27年第2回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉会 午後1時54分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 蔵 口 嘉寿男

議会議員 山 田 義 明

議会議員 内 山 英 作